

第1回 そば検定制度・検討委員会 開催報告

今年度の重点方策に挙げられた「そば検定制度(仮称)」の具体的な実施に向けて、第1回検討委員会が開催されました。

「そば検定制度」とは、そばの歴史・文化、栽培・品種、栄養・健康その他そばに関する一般常識についての知識度、博識度の検定を行って、その度合いに応じた資格を付与しようとするものです。

そば検定制度を全麵協の新たな事業とするべく、外部の専門家を交えての検討が開始されました。

(委員は下表参照)



委員会の様子

日時：5月14日(月) 午後2時～

会場：麵業会館 4階・会議室 (東京都千代田区)

次第：① 理事長あいさつ

② 委嘱状の交付

③ 自己紹介

④ 素人そば打ち段位認定事業と組織の現状についての説明

⑤ 「そば検定制度」実施の目的・ねらいについて

⑥ 「そば検定制度」実施に向けてのタイムスケジュール

⑦ 次回「そば検定制度」検討委員会の開催日程について

委員会の概要

一般社団法人全麵協は、活動の目的に「そばによる地域活性化」を掲げています。全麵協会員がこの目的の実現に向かって、そば人口を掘り起こすと共に全麵協会員がより多様な地域活動を行うことができるようにすることが「そば検定制度」を実施する目的であり、制度の実施を通して、さらに全麵協の活動を発展させようとするのがねらいです。

今回の委員会で取り上げられた、「そば検定制度」実施の目的・ねらいは次の7点でした。

- ①「そば人口」の掘り起し
- ②全麵協活動の普及
- ③五段位受験者の負担軽減と受験意欲の向上
- ④段位認定者のモチベーション向上
- ⑤「そば大学」との連携
- ⑥「そば打ち教本」との関連強化
- ⑦組織財政の強化

「素人そば打ち段位認定事業」は14千人余の段位認定者を生み出して、全麵協の基幹事業に成長すると共に、

段位認定者はそばによる地域活性化活動に大きな実績を果たしてきました。そば打ち技能に加えて、「そば検定制度」が実施されることによって「そばの知識」を携えることにより、さらに活動の場が広がることが期待されます。

そば検定制度 検討委員

No.	氏名	役職	備考
1	山崎 憲	習志野調理師専門学校 校長	
2	永田 雄一	元 柴田書店・編集長	
3	千秋 健	ジャーナリスト	
4	古賀 学	松蔭大学 教授	
5	板倉 敏和	一般社団法人全麵協 副理事長	
6	加藤 憲	同 専務理事	
7	藤間 英雄	同 事務局長	
8	大野 和則	同 西日本支部長	
9	谷端淳一郎	同 広報渉外部長	

(報告:広報渉外部長 谷端)